



ふじとだより

和歌山市立藤戸台小学校

令和 3 年 6 月 号



6月●●●1 学期の折り返し●●●



あじさいの花の鮮やかさが雨粒に映える季節を迎えました。
保護者の皆様には、いっそうご活躍のこととお喜び申し上げます。

本年度の始まりから2か月が過ぎ、早いもので1学期も折り返し点である6月に入りました。

この間、子供達は、成功体験により達成感を味わったり、逆に難しく思い通りにならない経験をしたりしながら、教科学習や集団生活において、喜びや難しさも学んでいます。一人一人の児童が、日々の学校生活の中で、成長を重ねられるよう、1学期の後半に向けてしっかりと支援していきたいと思います。

学校便り5月号では、朝の登校指導の際の子供達の元気な挨拶について触れましたが、登下校時の子供達の挨拶により心が温かくなります。下校指導においては、「さようなら、また明日元気に来てください。」と声をかけますと、多くの子供達から「さようなら」の挨拶以外にも、「さようなら。またあしたお願いします。」、「いつも「旗もち」をありがとうございます。…」という丁寧で素敵な気持ちの良い挨拶が返ってきます。この挨拶には、思わず、「そんなふうに言ってくれて、ありがとうね。また明日元気に来てね。…」とお返しします。人の心を豊かにする挨拶が校風となるように、今後も子供達を励まし、エールを送りたいと思います。

先日、和歌山市教育委員会による学校訪問がありましたが、その講評では、「子供達の学習に向かう姿勢」、「気持ちの良い自発的な挨拶」、「新型コロナウイルス感染症に対する対策」、「教室や校内の学習環境の整備」等について、高評価をいただきました。

今後も子供達が学校生活において安心安全な環境のもと、個性、長所を伸ばせるよう学校教育の充実に向けてまいります。

●●●●● 令和 3 年 6 月 学校長 堀 本 純 平 ●●●●●



■ ■ ■ ■ ■ 熱中症対策と感染症対策について ■ ■ ■ ■ ■

6月は、じっとりした湿気とともに気温もぐんぐん上昇する季節です。夏本番を前にして、体が暑さに十分順応できていないこの時期から夏に向けて、感染症対策とともに熱中症事故の防止にもしっかりと取り組んでまいります。

熱中症対策

本校では熱中症対策として、室温を確認し、エアコンによる室温管理に努めており、屋外での活動については、天気予報や「暑さ指数(WBGT)」を参考に、暑い日や時間帯を避け、無理のない範囲で活動するようにしております。

また、体育授業をはじめ様々な教育活動において、屋内外を問わず、その活動前に適切に水分補給を行うとともに、必要に応じて水分の補給ができる環境を整え、活動中や終了後にも適宜補給を行うようにしております。このように、学校の管理下においては、暑くなり始めや急に暑くなる日等の体がまだ暑さに慣れていないこの時期から、熱中症の防止に努めてまいります。

「日傘の使用」については、従来からの熱中症予防行動として有効ですので、各ご家庭でご判断いただき、日傘や帽子をご活用くださいますようお願いいたします。

体育授業におけるマスク着用の必要性

マスクの着用については、近距離での会話や発声等が必要な場面も生じうることから、飛沫を飛ばさないよう、児童及び教職員は、基本的には常時マスクを着用しておりますが、体育授業等教育活動の中で、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、熱中症への対応を優先させ、マスクを外すよう指導しています。また、児童本人が暑さで息苦しいと感じた時などには、マスクを外したり、一時的に片耳だけかけて呼吸したりするなど、自身の判断でも適切に対応できること、夏期の気温・湿度が高い中でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなるおそれがあるため、登下校時には、人と十分な距離を確保できる場合には、マスクを外すことができることについても指導しています。(「体育授業におけるマスク着用の必要性について」(スポーツ庁)、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」(文部科学省)に従って、感染症及び熱中症への対策を実施しております。)

体育授業に関し、医療的に配慮が必要な場合及び基礎疾患をお持ちの場合や、保護者の皆様から感染の不安により授業への参加を控えたい旨の相談があった場合には、従前より授業への参加を強制せず、保護者の皆様のご意向を尊重しております。ご心配なことがございましたら、ご相談くださいますようお願いいたします。

